

令和4年度 第2回

地方独立行政法人 西都児湯医療センター評価委員会 会議要録

- 日 時 令和4年7月13日(水) 午後7時00分～午後9時15分
■場 所 西都市コミュニティセンター2階図書室
■出席者 黒木正善委員長、桐ヶ谷大淳副委員長、落合秀信委員、永友和之委員、
松本英裕委員、八木 毅委員

【西都市】

白坂重幸地域医療対策室長、
日高利勝地域医療対策室長補佐、日高憲一地域医療対策室長補佐、
甲斐賢一郎主幹兼新病院対策係長、山口恒志地域医療対策係長

【西都児湯医療センター】

赤塚剛事務局長、黒木正道事務局次長兼財務・人事課長、
永野淳二事務局次長兼庶務課長兼経営企画課長

- 傍聴者 無し(令和4年7月12日に、宮崎県知事より「医療緊急警報」が発令され、
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。)

■会議経過

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事

(1) 第3期中期計画(案)について

発言者	発言内容
委員長	よろしくお願ひいたします。 本日の議題は、 (1) 第3期中期計画(案)について (2) 令和3事業年度の業務実績に関する評価について (3) 第2期中期目標期間における業務実績に関する評価について の3件となっております。 まず、第3期中期計画(案)を議題といたします。前回の評価委員会 で出されました、第3期中期計画(案)に対する意見及びその対応につ いて、医療センターから資料1にて説明をお願いします。 なお、委員には事前に資料を配布し、目を通していただいております ので、簡潔にご説明をお願いします。
医療センター	資料1 1～13ページ
委員長	ただ今、医療センターより説明がありましたが、ご意見、ご質問等ご ざいましたらお願ひいたします。

委員	<p>検討8（2ページ）です。ここはセンターが明示しないということであれば仕方がない部分ではありますが、中期目標で脳神経外科医の確保というのは柱としてあります。中期計画のなかで明示されていなくても、脳神経外科医の常勤医についてはどのみち触れることになるのではないかと。それであれば、市長が（中期目標で）そう言っているのだから、中期計画としても脳神経外科医の確保に努めますとちゃんと書いておく。まあ、確保できなかったこともあるでしょうけど、それは書いていようが書いていまいが目標にあるから一緒なので、そこはどうかかなと。私は書いているほうがすっきりするかなと意見したので、ご検討ください。</p>
委員	<p>参考までに、クリティカルパスの令和6年度目標が、使用回数20回となっていると思います。令和3年度はどれくらいだったのでしょうか。</p>
医療センター	<p>令和3年度は3回です。</p>
委員	<p>種類は整形ですか。</p>
医療センター	<p>そうです。</p>
委員	<p>救急とか感染の看護認定とかの件（検討11、2ページ）ですけど、限定できないというのものもあるかもしれませんが、センターとして必要なものとして回答されています。救急看護と感染看護が最優先だと。ということであれば、記載があってもなにも問題ないのでは。限定できませんというよりも、センターの目標としてはこれを最優先に取得していきたいと考えていますということでも良いのかなと思いました。</p>
委員	<p>検討12（2ページ）の情報発信の件ですが、前回も言いましたが、地方独立行政法人に定められている公表というだけではなくて、住民の代表である議会からの求めとかそういったことにはしっかり応じていただきたいなど、再度お伝えさせていただきます。</p>
委員	<p>回答16（3ページ）について、数字の確認をしたい。常勤医師5人で月60人程度の実績との記載があるが、入院患者数の積算のため理事長は医師数にカウントせず、常勤医師4人で月60人程度の実績で常勤医師ひとりあたり入院患者数15人ということか。また、目標である入院患者数1,000人については、常勤医師数6名で月83人という整理でよいですか。</p>
医療センター	<p>そうです。</p>
委員	<p>そうなったときに、後で出てくる話ではあるのですが、ここで51床まで受入病床を確保しましたということであれば、コロナの空床は何床になるのですか。</p>
医療センター	<p>6床です。</p>

委員	それは患者さんが入るベッドが6床ですか。入るときに犠牲になるベッドで空床確保料がもらえますよね。それは、範囲が狭くなったということですよね。
医療センター	おっしゃるとおりです。
委員	前は20床くらいと聞いていたのですが、今は何床が犠牲になるのですか。
医療センター	今は16床です。
委員	全部で16床ですか。69床あるから、最大53床は使えるということですね。
委員	ここから少しずれることになるのですが、コロナで患者受入数を減らすというか空床ベッド数を減らす訳じゃないですか。入院患者数が増えたら入院収益は増えますよね。コロナ補助金は減らないのですか。計画ではそこまで減っていないのですが。
医療センター	補助金ですか。
委員	補助金があまり減っていないので、コロナが落ち着く前提で入院患者が増えて、入院収益が増えますとなるのであれば、コロナの補助金をもっと減るのではないかと思ったのですよ。
医療センター	そこについては、減るという想定で数字を出しているのですが、實際上、昨年前半までは受入病床が2床でした。それから6床に県の依頼で増やしました。それに伴って、補助金額も増えております。これは患者さんを受け入れた時と空床の時でまた違ったり、フェーズによっても違ったりしますので、ここ極めて算定がしづらいところで、こちらの見込みとして徐々に減っていくという想定はしてあります。
委員	空床確保料の単価自体は変わっていないのですね。
医療センター	昨年度までは、陽性患者を受け入れてない場合には空床保証が出ておりませんでした。だから昨年の4月は補助金ゼロです。今現在は、県の方から空床、病床確保という形になっておりますので、いつでも患者さんを受け入れるために、空床の方も補助がでているという状況です。
委員	それはいいことですね、助かりますね。わかりました。そういうことであれば、空床保証はその時しかもらえないと聞いていたので、それであれば悪くないと思います。
委員	実績の方見た時に、経営会議という表現が出てきます。前も1回触れさせてもらったのですが、独法の改正があった時に、運営会議についての要綱を作っているはずなのですよ。名称がです。運営会議という。それで、それにあわせて中期計画の策定とか評価に関する規定という大きなものがセンター内にあります。そこで、理事長とか幹部、管理職を含む会議についての名称は運営会議となっています。病院内にそう

	<p>いう法律がしっかりあるのですよ。なので、何カ所も経営会議という表現で出てくるのですが、規定とかがしっかりあるので、ここの表現はいかがなものかなとひっかかります。前回もそうなっていてちょっと触れさせてもらったのですが、運営会議というのは勝手に付けたのではないと。今回も経営会議となっていたので、理事長が替わったからからといって組織の名称を変えるものでもないので、しっかり規定にあるのだからそれで使うのが本当ではないかなと思います。</p>
医療センター	<p>わかりました。規定があるということはですね、私どもの方でその規定に関して運営会議を経営会議という風に名称を変えることができないかどうか、そこをこちらで調べさせて頂いて、変えられるということであれば変えさせて頂いて正式にさせて頂くし、変えられなかったということであれば、またその運営会議という名称についてもこちらで検討させて頂いてよろしいですか。</p>
委員	<p>はい。まあ変えられないということはないと思います。ただ、変える意味があるかないかということなのですから。</p>
委員	<p>外科の先生が入られているのですよね。手術はされているのですか。</p>
医療センター	<p>外科の先生に関しましては、今手術はされておりません。そういうお約束でうちの方にも入っていただいております。</p>
委員	<p>法令遵守のところで、診療録の個人情報取り扱い、平成 15 年施行の西都市の条例に則ってと書いてある所は、個人情報保護法も改正されておりますので検討されたらどうでしょうかという話だったのですが、やはり平成 15 年の条例に従ってされるのでしょうか。</p>
医療センター	<p>事務局との打合せのなかで年度の問題について、私どもの方で認識不足だったものですから、そこはもちろん改正されていけばですね、改正した法に則ってということはむしろその方が良いかと思っておりますので、検討させて頂いてよろしいですか。</p>
委員	<p>個人的な意見としては、国が最近改正したものよりもかなり前の法令に従うというのは一般的ではないかなと思ったものですから、ご検討をお願いします。</p>
委員長	<p>ほか、ありませんか。</p>
委員	<p>資料の 9 ページなのですが、年度計画のなかで細かく入院収益とか外来収益とかだしていただけて助かります。入院収益のところなのですが、この前も教えてくださいと言いましたが、この金額になるという積算の計算式を教えてください。こうなる根拠です。</p>
医療センター	<p>入院収益ですが、これに関しましては昨年度の現場常勤医師 1 人当たりの受け入れ平均入院患者数が 11 人から 12 人という風に積算結果が出ております。常勤医師 4 人、現場のですね現場の常勤医師 4 人にな</p>

	<p>ればですね、これは3人の実績でございますので44人から48人。単純な計算ですがそういう風になります。受け入れに関しましては先ほどもお話しましたように、受け入れ病床数が確保できておりますので、それをもとに積算をしてこの金額を出させていただきました。</p>
委員	<p>そうしたら、整形が2人いらっしゃって、外科が1人いらっしゃって、外科の先生の手術はされないのですよね。それで整形と外科と新たに内科、入院されますってなった時に、その診療科で診療単価が大分違うじゃないですか。そこはいくらくらいで計算されていますか。</p>
医療センター	<p>38,000円から40,000円ぐらいというふうに見ております。ただ幅は、当然予算ですからございます。</p>
委員	<p>それはそうですね。38,000円から40,000円でひとりあたりを平均してみているのですよね。内科が入ったらちょっと上がるのですか。</p>
医療センター	<p>どうですかね、その辺はその平均で見えておりますので、診療科ごとの積み重ねというよりは予算という考え方でいくと、平均の方がそして前年度比という考え方の方が私たちとしては合理性があるのではないかと。つまり、予測の患者数というのはなかなかやはり難しい、しかし予測はしないとイケない。そうすると、この昨年度の平均入院患者数が11人から12人。そういう風になったのは現場医師が3人というカウントをした結果でございます。それが4人になるわけですから。こういう風な想定でも、予算としては成立するのではないかという考え方でございます。</p>
委員	<p>まあ成立はするでしょうけど、診療科ごとに診療単価も違うし、患者数も違うし、ここで見ると患者さんの大半が整形外科じゃないですか。とうことは、メインになるのは整形外科の単価がメインになるじゃないですか。全部を患者数かける何人てやって平均単価かけてそこまで正確には出ませんよね。だから、できれば、今ちょうど経営も苦しい状況の中でやっているわけだから、できる限り細かく計算を出して、例えば現金が不足しますとなったら、当然長期借入れは市からしかできない訳ですから、センターは。そうしたら、前もって計画的にそういったことも考えていかないと。もしかしたら、厳しい状況になるかもしれない訳ですよ。なので、出来るだけ細かく計算をした方がいいのではないかなと私は思います。なのでそういうアバウトな形でいくと、どうなのかなというの、いただいた患者数とかを見ると、結局内科医が去年いなくなって、その反動で総合診療科の患者さんが増えますよね。内科ほどは増えていないけど増えました。今回、内科医が来ました。その時に、総合診療科は今までと同じだけの患者さんを確保するのかどうかというところも微妙になるかと思うのですよ。内科がいる時には総</p>

	合診療科の患者さんは少ないですからね。整形外科も二人になられていますが、一人から二人になられて増えたのは2倍になってないわけですよ。だから今と同じ計算でやりますと考えた時に、ちょっと全部述べて平均してやりますのは引かかる部分があります。
委員	給与費のところが、令和4年、令和5年の間が500万円ないぐらいで、5年から6年が200万ないくらいなのです。昇給されるのであれば、その金額では足りないのでは。給与費の計算は、もう昇給しない見込みだということであれば納得できます。昇給するということであれば、その人件費が足りないのではないかなと思います。記載されている通り、50歳代がいるから人件費がこれからまた増えますと書いてあります。私が在籍していたころもそうやって書いて、実際毎年伸びていたから分かるのですが、逆にここは伸びが少ないのではないかな。これは、後で困るのではないかなという気はしました。昇給だけを見て、多分職員はそんなに減らないですよ。
委員	ちょっといいですか、1+1が3になる場合もあるのですよ。整形外科医が2人になったら大きな手術もできます。内科医も2人になったら、重症もみられますので、1+1が3になる場合もあります。
委員	それはそうですね。でも、今現実になっていない部分で言っているだけです。
委員	1+1はかえって3になりますよ。だから、あまり予算のことで小さなことを言っても仕様が無い。
委員	予算に狂いが生じてお金が足りなくなったら、病院も困るし、市も困ります。だからできる限り細かくしましょうという話です。
委員	それでも収入は、確かに増えるかもしれないし減るかもしれない。そこまで細かいことを気にしていたら、何もできません。
医療センター	先ほどの予算の考え方につきましてですが、委員の経験上の考え方について、十分に参考にさせていただきたいと思います。我々も学ぶ点があります。ただし私たちは、新型コロナという極めて経験したことのない事態に陥っております。昨年度も当然その新型コロナというものの中での受け入れ入院患者数ということも想定をしまして、私どもとすれば、少なくともこれぐらいはやれるし、もうすでに今からやっという話をしておりますので、この入院収入の考え方については私どもの考え方をご理解いただければと。ただし、委員の言われたことも、しっかりと受け止めさせていただきます。
委員長	ほか、ありませんか。
医療センター	先ほど委員からご指摘がありました、脳神経外科医を記述した方がいいのではないかなというお話ですけれども、私どもですね、今回この中

	<p>期計画を作るにあたって非常に慎重にならざるを得ない状況になっております。なぜならば、理事長が解任をされたという理由の一つに、中期目標を達成する意思がないという風に指摘されております。中期目標ということは私たちにとっては中期計画でございます。その中に記述をしてしまうと、それができないとそういう風な考え方をされてしまう。達成する意思がないという風なことを指摘される状況もあり得るということで、極めて慎重になっております。従って具体的な表記が足りないかもしれませんが、そこについてはできるだけ年度計画の中で具体的に表記をできるだけさせていただきたい。毎年出すですね。そういう風に考えておりますので、そのこの表記についてはですね、この記載のようということでご理解をいただけないかなと思っております。</p>
委員長	<p>ほか、ありませんか。</p>
委員	<p>先ほどちょっと話しがあって、新型コロナウイルスの件で、うちの病院も受け入れ医療機関で、補助金でかなりプラスになっている部分もあるのですが、逆に受け入れている事によって、病床が他に一般病床の方がちょっとなかなか回せない。どうしても看護師が一般病床も見て、コロナの病床も見てという感じでやっているの、結構今後の見通しが立ちにくいところはあるかなと思います。そのなかで、補助金も何時まであるかもわからないというところもあるので、9ページの新型コロナウイルス関連の補助金を見込みとして入れられていて徐々に減っていくだろうという予測の中で入れないということですね。私も自分の病院とかを見ると、今後の計画を立てるにあたって、新型コロナウイルスによる見通しが立たない中で、プラン A プラン B ぐらいで考えた方がいいのかなと普段思っていたりするのですが。補助金があって、現状のままもうあと3年ぐらい新型コロナウイルスに今の状況で対応して行かないといけないような状況と、あとはインフルエンザ扱いみたいになって、そうすると補助金はないけど、そのぶんしっかり一般病床の方を回転させないといけないとかですね、そういったところも、見込み立たない中でも少し盛り込んでいた方がいいのかなと今思ったところですね。</p>
医療センター	<p>それは参考にさせていただきます。私どもの試算によりますと、私どもですね、重点医療機関そして協力医療機関、その下の一般医療機関となりますので、圧倒的に補助金額は少ない。ということで、試算しますと一般入院患者さんを受けた方が、明らかに経営的に良いという風な状況もございまして。ただおっしゃったことについては、私ども内部的にですね、指標みたいなものを作ってですね、検討をさせていただいた</p>

	いというふうに思っております。ありがとうございます。
委員長	ほか、ないでしょうか。なければただ今説明がありました修正内容でご承認いただけますでしょうか。
委員	はい。
委員長	ご異議が無いようですので、承認させていただくことに決しました。それでは、事務局より資料4の答申書(案)について説明をお願いします。
事務局	37 ページをご覧ください。令和4年6月1日に西都市長より諮問を受けました、地方独立行政法人西都児湯医療センター第3期中期計画(案)につきまして、別添、第3期中期計画最終案のとおり、認可することが適当であるとの答申内容になっております。以上です。
委員長	ありがとうございました。ただ今の答申内容(案)については、いかがでしょうか。
委員	(意見なし)
委員長	ご異議が無いようですので、このとおり決定をさせていただきます。なお、答申書については、日程調整のうえ私のほうで市長に答申したいと思いますが、よろしゅうございますか。
委員	はい。
委員長	ありがとうございます。

(2) 令和3事業年度の業務実績に関する評価について

発言者	発言内容
委員長	<p>それでは次に、令和3事業年度の業務実績に関する評価についてを議題といたします。</p> <p>医療センターより、自己評価とその評価に至った理由について説明をお願いします。</p> <p>まず、資料6「業務実績報告書」の45ページから49ページ、「第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」の「1 医療サービス」の(1)から(5)について説明をお願いします。説明は全文を読み上げることなく、評価理由について簡潔な説明をお願いします。</p>
委員	すいません、そこに入る前にひとつ質問させてもらってもよいでしょうか。
委員長	どうぞ。
委員	事務局に質問なのですが、前回の評価委員会の中で、評価基

	<p>準について意見をさせていただいたと思うのですが、その赤字であったりいろいろ機能が低下していったりするなかで、概ね順調ですという評価になりますというところをどうにか考えてほしいということで、意見を言っていたのですが、とりあえずこのままだったですけど、今回も作られているものを見ると前回のものです。そこについては一体どうなっていますか。</p>
委員長	事務局。
事務局	<p>お答えをさせていただきます。只今ご指摘のございました評価基準のお話だと思いますけども、前年度の評価委員会において、各委員様よりご意見があったことは承知しております。現在、種々研究を重ねている状況でございます。119 ページにある要領になりますけども、現在の評価については平成 29 年度の地方独立行政法人法改正により、評価委員会の評価意見を参照して、設置者が評価を行うように改正となっております。本市の評価基準につきましては、法改正前の考え方によりまして策定されたものと考えております。このことから考えまして、法の趣旨に沿った評価基準に改正する方向性はもちろんですけども、評価委員会の評価意見をです、よりダイレクトに設置者である市長へ答申することが重要であると考えております。そのための案としましては、評価の傾斜配分なども考えられていましたけども、事務局の今のとこの案としてはです、大項目評価の方を廃止いたしまして、小項目評価のみの評価として、意見がある場合にはそこに意見を付して行う案ではいかがかなということで考えを進めておりました。この案であれば、現状の評価委員会の評価自体にはほぼ変更はございませんし、効率化が図られまして会議時間の大幅な短縮も可能になるのではないかと考えております。その評価の方法を今回の評価から適用していくということになるのであれば、今回評価委員会の皆様方のご意見をお聞かせいただいた上で、早速 119 ページの資料集にあります、地方独立行政法人西都児湯医療センターの業務改善に関する評価実施要領の改正に取り掛かりまして、次回第 3 回評価委員会の資料配布までにはお示しし、改正された要領に従って評価を行っていただくことも可能になるのではないかなというふうに考えます。この際ですので、是非ご意見をお聞かせいただければと考えております。</p>
医療センター	<p>私どもはその評価基準の中身について言う立場ではないのですけれども、今回の評価委員会の議事にはその件については入っておりませんので、もしそこを議論されるのであれば、私どもの入らない形、評価委員の皆さんだけの会合でやっていただくのが評価委員会のあり方ではないかなという風に思います。それと、評価基準については私ども</p>

	<p>もちよつと調べてみました。なぜこういう評価基準にされたかということでございます。そもそも、この地方独立行政法人が始まった段階で事務局が提案をされて、それを評価委員の当時の皆さんが賛成されました。事務局の案というのは、全国の地方独立行政法人で作っている評価基準、これを当然参考にされた全国標準だと思います。そこに現状でこういう事態になっている医療センターの状況を見て評価基準を変えるということに対しては、我々は違和感を感じるところであります。</p>
委員長	<p>議事が終わり、医療センターが退席した後にこの話をもう1回するというところでよろしいですか。評価の仕方については、評価委員会の権限ですから。</p>
委員長	<p>それでは後に回すということで、お許してください。 それでは、医療サービスの(1)から(5)まで説明をお願いします。</p>
医療センター	<p>資料6 45～49 ページ</p>
委員長	<p>はい、只今5項目について、自己評価がございました。それであの1項目ずつ進めていきたいと思ひます。 まず(1)緊急性の高い脳疾患や地域に不足している内科疾患における二次救急医療の提供 ですけども、自己評価は2でございました。このことについて、評価委員会の意見として、自己評価と違うご意見の方は、判断理由をお示しの上、お願いします。</p>
委員	<p>医療センター側の評価に異存はないのですが、年度計画で比較が平成29年度の記載がありまして、前年と比較と言われましても、ピンとこないのですが、これはなぜ29年度の実績がここに書かれているのでしょうか。地域計画のところ書かれるのはわかるのですが、年度計画で中期計画の初年度と比べるとちょっとピンとこないのですが、いかがでしょうか。</p>
医療センター	<p>中期計画そのもの自体がかつてこのように表記としてなっております。 それはなぜかと言いますと、要するに前年度の実績が、まだ確定していない段階で、この評価結果を出すものですから、物理的にそういう風になっておりました。それで、もう前年度が確定しているので、より現実的な予算についても、この評価についても出来るだけ現実的な比較ということで、今評価の判断理由を述べさせていただいたのですがシステム上、おっしゃるようにその数字しか見えないので、29年度しか見えておりませんので、要するに評価自体がこういう風な形になっているというのと、現実問題としてということのギャップをです</p>

	ね、お持ちなのかなという風に思っております。
委員	すいません、今ちょっと平時ではなくてコロナが流行っている時期なものですから、コロナが蔓延した前年度と比べるのが順当だと思い、それでピンとこないという形で言わせていただきました。数字がです。
委員長	他にございませんか。
委員	評価2でいいと思います。
委員長	よろしいですか。自己評価が2ですけども、異なる評価の方、いらっしやいませんか。はい、それでは、委員会として、2に決定いたします。
委員長	次に（２）初期救急医療体制の維持及び充実 についてご意見をお願いします。
委員	評価2は仕方ないと思うのですが、応需率に関してはある程度できているのかなと思いました。救急車搬入件数って必ずしも全体数が増えていくわけでもないでしょうから、ここは少し、目標値よりは減っているかもしれませんが、応需率として応需はされているので、それなりに評価はしたいと思えます。評価は2でいいのですが、そういう補足をしたいと思いました。
委員	救急車の搬入件数、昨年と比較してたったの7件なのですね、減少がですね。それで発熱外来とかそういったものも積極的に行われたことを加味しますと、概ね順調という3の評価でもいいのではないかなというふうに思います。
委員長	今、3の評価でもいいのではないかなというご意見が出ました。他にいらっしやいませんか。
委員	病院の評価を下げる必要はないと思うのですが、計画があつて実績があるので、その計画値との比較というのはどうしても外すわけにはいかないと思えます。だから病院側も自己評価2として出してこられていると思うので、ここはそのままいいのではないかなと思えます。
委員	はい、ありがとうございます。計画策定されたのはコロナを勘案しなかった時期だったのでですね、それもカバーして、ですから先ほどは昨年と比較しないとどうのこうのという話をさせていただきました。
委員長	ほか、ご意見ございませんか。
委員	どうしても年度計画と当初計画との比較になってしまうので、私も比較の中では2かなというのがあります。後は、応需率、搬入件数プラス応需率の方もちょっと低いというところもありますので、私の中では2かなと思ったところです。

委員長	はい、ありがとうございました。2の方がお二人、それから3でもいいという方おひとり。ほかございませんか。
委員長	それでは決を取るということでよろしいでしょうか。 自己評価と同じく2でいい方、挙手をお願いいたします。 はい、ありがとうございました。挙手多数ですので、委員会評価は2とさせていただきます。
委員長	次に(3)地域医療連携の推進のご意見をお願いいたします。 ありませんか。それでは、自己評価と同じ2とさせていただきます。
委員長	次に(4)在宅医療の充実に向けた支援これは、自己評価が3でございますが、何かご意見があればお願いいたします。 ありませんか。それでは、ないようですので、自己評価と同じく3に決定させていただきます。
委員長	次に(5)地域災害拠点病院としての役割これは自己評価4になっております。ご意見ございませんでしょうか。
委員	ありません。
委員長	それでは、自己評価と同じく4に決定をさせていただきます。
委員長	次に50ページから56ページ、医療の質の向上の(1)から(5)について説明をお願いします。
医療センター	資料6 50～56ページ
委員長	ありがとうございました。それでは、1個ずつ進んでいきたいと思えます。 まず(1)医療スタッフの確保について、自己評価は3でありますけれども、違うご意見の方、お願いしたいと思えます。
委員	私もこれ3でいいと思うのですが、先ほど指標に従っているから2だという形で、委員先生方からお話があったと思えますけれども、この分も指標に合わせますと医師数半数ですので、下回っているという形ですから、おそらく2という評価になると思うのですよ。ですから、この評価においてコロナをどこまで勘案するかというのを明確にさせていただかないと、これから先の評価が私自身すっきりしないなと思ったものですから質問させていただきました。コロナを勘案するものでありましたら、最初のところも3でもいいのではないかなという風に思えますし、指標どおり行くのであればこの分は2なるのではないかなという風に思えますが、いかがでしょうか。
委員長	はい今、委員の方からご意見がありました。コロナを勘案したらどうかというご意見ですけど、他の委員の皆さんのご意見を伺いたい。
委員	質問ですが、常勤医師数4となっていますけど、当初は5名いたと

	<p>ということですよね。常勤医師5名体制で途中一人抜けたので4にしたということですけど、途中までいたので、小数点というか3ヶ月ぐらいいただいたのでまあ4ではなくて4.3にするとか、あとは、医師が足りない場合、結構非常勤の医師が入っております。そこも常勤換算するとかですね、なかなか常勤医師を丸々1年確保していくというのは結構大変なところがあるので、指標自体も、看護師とかもそうかもしれないですけども、非常勤の職員を常勤換算で指標の中に組み込んだ方が、現実的な仕様になるのかなと思いました。</p>
委員	<p>私もそう思いました。常勤医師が人数少ないという話されましたけど、非常勤医師がすごく多いので、それはもう0.何人で普段保健所の届け出に関してもそれでクリアしてきますから、そういう数字はありかなと思いました。</p>
委員長	<p>ほかにありませんか。</p>
委員	<p>ここの常勤医師数のところに非常勤を換算して入れるかどうかは別にして、その文章の中に代わる、その代わりに非常勤これだけいっぱいいっていますとか、そういうのも有りでしょうし、それともうひとつ、私もこれ3でいいと思っているのですが、中途半端な考え方かもしれないけど、今の医療センターの医師の数が減っている理由は知っているではないですか、正直。コロナ関係なしに、そこまで減って今ですよ。なので、この計画と単純に比較まではしなくていいのかなとは思いますが、コロナでどうこうではなくて、ここに関してはですけど、医師数に関してはそういうところも考えたら、もう、確かに計画からは半分ですけど、半分も仕方ないかなというふうに思います。コロナ禍を反映させるというのと違う意見になってしまったのですが。</p>
委員	<p>私が言いましたのは、先ほど計画と比較していろいろな事情があって戻っているから、2だというお話だったので、そうではなくて、やはりいろいろな事情を勘案してやったらどうでしょうかと、そのへんの皆さんどうお考えかわからなかったのが、質問させていただいた形です。コロナ禍だからよくしようというわけではありません。</p>
医療センター	<p>あの、今のお話に関してなのですけども、委員の言われた通りで、私どもは、やはり公的病院としてこれだけコロナに対応をせざるを得ない、スタッフにも少し余裕がありましたので積極的に対応させていただきました。ワクチン接種等も積極的にやりましたし、そこを評価して頂けるというのは大変本当にありがたいお話ですが、一方でこの計画値というものなのですけども、これは年度末でカウントするというふうな、今までずっとそういうものがありましたので、私どもとしてここに数値としては入れざるを得ないです。委員もおっしゃって</p>

	<p>いただいたように色々状況が変化するじゃないかというお話なのですが、例えば令和3年度の計画値というのは、元々新病院の稼働する前年度ではなかったかと思うのですよね。すると、新年度に向かうということも含めてこの計画値が定めてあるのだというふうに理解しております。なぜなら、予算等についてもそういう金額も入ってきておりますので。ただし、やはり数値というの非常に大きなプレッシャーが我々にはありまして、我々が主張する事は、数字として主張する事、なかなか難しいと私も当事者ですので、だからせめてもと思って、分かっていたようにこの理由として書かせていただきました。皆さんにそこら辺をご理解頂いて大変ありがたいと思います。それともう一つは、西都市が定めております地方独立行政法人の西都児湯医療センターの評価実施要領という中に、法人を取り巻く環境の変化を考慮するというのと、多面的な観点から、評価するというこの項目もありまして、そのあたりとも皆さんのご意見が合致しているのでありがたいと思っております。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>よろしいですか。それでは、自己評価3のとおり、決定とすることによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>次に（2）医療安全対策の徹底 についてご意見をお願いします。ごさいませんか。なければ、自己評価3と同じく、3で決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に（3）クリティカルパス導入の推進 自己評価は3でございますが、ご意見ございませんでしょうか。よろしいですね。はい、それでは、自己評価と同じく、3に決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に（4）高度医療機器等の計画的な更新・整備 自己評価は4でございますが、ご意見ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>機器の整備とかそういったところになりますと、2もありえないけれど、4もないのかなと。普通どおり、計画的に整備していけば概ね順調な3っていうので、評価としてはなるのかなとは思いますが。</p>
委員長	<p>ほかございませんか。</p>
委員	<p>概ね順調だから4でいいと思ういますけど。</p>
委員長	<p>はい。4でよろしいですか。</p>
委員	<p>3も概ね順調なのですよ、4は特別ちょっとプラスな話になりますので。機器の整備というのも計画的にやっているものなので、2も当然あり得ないのですけど、4もなく、3なのかなと。</p>

医療センター	私どもが、これを4という高い評価にしたのは、新型コロナの感染状況の中で、それに対応する施設を整えるということがありまして、現在病院が持っていない機器を迅速に導入して対応が出来たということで、計画の中には入っていないことなので、皆さんにご評価いただけたらと思って4とさせていただいたところです。
委員長	はい、ほかにありませんか。
委員	新型コロナの機器購入の対応をしたなら、まだ評価を上げてもいい。事務局は頑張っている。
委員長	評価3の委員は、ご意見いかがですか。
委員	いやいいです。
委員長	評価4でよろしいですか。
委員	はい。
委員長	それでは、自己評価の4と同じく決定したいと思いますけど、よろしいですね。 それでは、委員会の評価も4とさせていただきます。 次に(5)研修制度の確立 自己評価は3でございますが、ご意見をお願いしたいと思います。
委員	ありません。
委員長	ご意見ありませんね。それでは、自己評価3ですが、委員会としても3に決定させていただきます。 次は、57ページからですね。患者サービスの向上 から62ページの5 法令遵守 の説明をお願いします。
医療センター	資料6 57～62 ページ
委員長	それでは、これも1項目ずつ進めていきたいと思います。 まず(1)患者中心の医療の提供 について、法人自己評価は3となっております。このことについて、ご意見ある方はお願いします。 なければ、自己評価と同じく3で決定させていただきます。
委員長	次に(2)快適性の向上 について、自己評価は3になっております。ご意見をお願いします。 ご意見がないようですから、委員会としても3で決定させていただきます。
委員長	次に(3)情報発信の推進 自己評価が4になっております。ご意見ございませんか。
委員	ここに関してはちょっとですね、去年は3だったのですが、今年も3でいいのではないのかなと思います。というのが、前回からも指摘しておりますが、議会等で医療センターからの情報が出て来ないと

	<p>いう答弁が結構ありまして、その件に関して結構住民の方からも、なぜそうなっているのかと意見があります。理事長の解任問題もあるし、そこで用心する部分もあるのかもしれませんが。やはり住民の方からこれだけ多くの意見を聞いている限りは、情報発信について普通以上の評価をするのは私としては納得できませんので、3でいいのではないかなと思います。</p>
委員長	<p>ほかご意見ありますか。</p>
医療センター	<p>今の点について、お答えをさせていただきます。情報の開示と、情報発信ということでございますが、この情報発信には多分二通りの考え方があると思ひまして、今委員がおっしゃったことも一つだと思ひます。ただし、住民に直接その情報を発信すること、これはまた情報としてあると思ひます。今のコロナの時代にあつて、私どもは情報を出来るだけ住民にお伝えしていこうということで取り組んで参りました。情報発信が極めて大事な時期だということで、その情報発信をしてまいりました。多分、医療センターとしてなかなか今までにない取り組みではあつたというふうに思ひます。私どもとしては、看護巡回ということでですね、市民に向けてこれも情報発信だと思ひます。それと診療案内というものを作つて、西都市はもちろんのことですけれども、児湯全体あるいは消防局の皆さんにもそれを発信して、できるだけ患者さんのために速やかな医療が受けられるためにということをしてやつて参りました。西都市の広報誌にもですね、新型コロナの対策とか時期によるものとかそういったものを発信してきたということで、私の方は今の環境の変化に応じてそういう対応ができたというところで4とさせていただいたところであります。</p>
委員長	<p>それでは、自己評価4、そして委員が3という数字が出てきましたので、決を取りたいと思ひます。</p> <p>自己評価4でいいという方の挙手をお願いします。</p> <p>はい、過半数になりましたので、委員会として、4で決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に(4)職員の接遇向上 について、ご意見がお伺いしたいと思います。自己評価が5でございます。</p>
委員	<p>確認させて頂きたいのですが、昨年度のこの研修会といひますのはビデオを使ってされたのでしょうか。また、昨年度の評価は5だったのでしょか。おそらくコロナ禍という中でビデオを作るなりとか努力をされて、それで徹底したという形であれば5でいいと思ひますけれども、昨年度と同じことやつていて昨年度と評価が違つていたら、まずいかなと思つたのでお聞きしました。</p>

医療センター	昨年度も5を頂いております。
委員	わかりました。
委員長	ほかございませんか。
委員	今の昨年度の話を知らない状態でこれを見て、ちょっと高すぎかなと最初思った。理由としては、接遇の研修会自体行っているのは素晴らしいことですが、これに加えて、客観的な評価みたいな、患者さんからの評価みたいなところであがっていると、5でいいのではないかなと思ったのですが、そこら辺の評価、患者側からの客観的評価がこれだけではなかなか分かりにくいというところがあります。58ページに患者満足度調査の入院外来のが入ってしまっていて、これがまあ一つ目安になるのかなと思いますが、この中で、まあ点数的には横ばいぐらいではあるので、そうであれば、昨年度の話聞く前であったら、4ぐらいかなと思ったところでした。
医療センター	今先生がおっしゃった調査結果だと、もう横ばいということになります。ただし、私の体感として、やはり受付業務であるとか、先生に対するとか、あるいは看護師の対応に対するお話とか、あるいは実際に手紙もですね、体感的に増えてきています。たぶんコロナ禍だったとは思いますが、その辺プラスアルファがあるなというふうに、極めて主観的で申し訳ないのですが、それで5にさせていただきました。おっしゃるように、同じことしてるじゃないかということであれば、昨年度はプラスアルファできなかったのですが、今年度またプラスアルファをして、強化しようと思っております。
委員長	ほかございませんですか。 それではこれについて、決を取らせていただきます。 法人の自己評価は5になっておりますが、これでいいという委員の方は挙手をお願いいたします。はい、過半数になりましたので、評価は5にさせていただきます。
委員長	次に大きな4番 公的医療機関としての役割 自己評価は4であります。ご意見をお伺いします。 ございませんか。それでは自己評価と同じように4で決定させていただきます。
委員長	次に5 法令遵守 自己評価は3でございます。ご意見をお願いいたします。 よろしいですか。それでは、ご意見がないようですから、自己評価と同じく3で決定をさせていただきます。
委員長	次は63ページの第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 から70ページ 第3 財政内容の改善に

	<p>関する目標を達成するためにとるべき措置 まで説明をお願いします。</p>
医療センター	<p>資料6 63～70 ページ</p>
委員長	<p>はいそれでは、項目ごとに評価をしていきたいと思います。</p> <p>まず大きな1番 法人運営管理体制の確立 について、自己評価は3でございますが、違うご意見の方、お願いしたいと思います。</p> <p>ないですね。それでは、ご意見ないようですから、自己評価と同じく委員会として評価を3といたします。</p>
委員長	<p>次に大きな2番の（1）効率的な予算の執行 法人の自己評価は3でございますが、違うご意見の方いらっしゃいましたらお願いします。</p> <p>ないようですので、委員会として評価を3とさせていただきます。</p>
委員長	<p>次に（2）適切な人員配置 自己評価は3ですが、ご意見をお願いします。 ご意見がないようですので、委員会としても評価を3とさせていただきます。</p>
委員長	<p>次に（3）人事評価制度の運用 自己評価は2でございます。ご意見がありましたらお願いします。</p> <p>ないようですので、自己評価と同じく評価を2といたします。</p>
委員長	<p>次に（4）病院機能評価の活用 自己評価は2であります。ご意見があればお願いします。</p> <p>ご意見がないようですので、委員会としても2に決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に財政内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置の中から（1）収入の確保 これは自己評価が2でございます。ご意見をお願いします。</p>
委員	<p>昨年令和2事業年度の評価を行った際、ここは1と言わせていただいております。収入の確保という項目になると思いますので、指標にもそういうのが出てきてないのですが、昨年もこの部分と3番目の経常損益に関しては、赤字なのでそこは1でお願いしますと。昨年ここは2になっているのですが、意見としては同様ですので、私は1と言わせていただきます。</p>
委員長	<p>ほかにご意見ございませんか。</p> <p>それでは決を取らせていただきます。自己評価が2、ある委員から1という意見がございました、自己評価の2でいいという方の挙手をお願いします。</p> <p>挙手なしですね。それでは、1に決定とさせていただきます。</p>
委員長	<p>次に（2）支出の節減 であります。法人の自己評価は5であります。ご意見をお願いします。</p>

	<p>ございませんね。それでは、自己評価と同じく委員会としても評価を5に決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に(3)役割と負担の明確化 自己評価が2でございますが、ご意見をお伺いします。</p>
委員	<p>昨年令和2事業年度の評価を行った際、1と言わせて頂いて皆様のご意見も1で頂いておりますので、ここも1と言わせていただきます。</p>
医療センター	<p>私どもがここを2といたしました理由ですけれども、一昨年度はですね、赤字額は2億円ございました。昨年度は9,300万まで赤字を圧縮することができました。厳しいコロナの中ですけれども、一所懸命経営努力しましてここまでやりましたので、その辺りはこの損益の部分に関してはご評価をいただけないかなと思って2とさせていただきました。</p>
委員	<p>赤字額が減っていることはですね、単純にその頑張られたことだと思います。ただ、赤字ですので、そこはやはり考慮しなきゃいけない、例えばその赤字を圧縮したことを評価するとか去年は逆に但し書きしましたよね。評価が高く出るので、低い但し書きをしましたけれど、ここに関しては1にしますけど、去年よりは赤字が圧縮されているので、但し書きとして、赤字額が減っていることは評価します、と強調するという形でいいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>コメントを載せるということですね。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員	<p>でもまあ、公的病院はだいたい赤字になりますからね。努力しているから2にしてあげたい。もう職員のやる気がなくなりますよ。</p>
委員	<p>質問です。1年で赤字額を1億圧縮するというのは、結構頑張っているなと思いますけど、その、1億削減できた一番の取り組みというか、理由を教えてもらってもよろしいでしょうか。</p>
医療センター	<p>何と言っても常勤医を2名確保できたということが最も大きなことだと思います。当然のことながらその中で感染患者の受け入れをどうするのかとか、いろいろなこともできるだけのことにはやったつもりでございます。ただし最も大きかったのは、やはり新たな医者の方が2人も来ていただいたということでありまして、そこについては、ご評価いただきたいというふうに思います。</p>
委員長	<p>それでは、自己評価2と委員の1という意見が出ましたので、決をとりたいと思います。自己評価のとおり2でいいという方の挙手を求めます。はい、過半数になりましたので、自己評価どおり2に決定をさせていただきます。</p>

委員長	次に 71 ページの第 4 から 73 ページの第 10 までは評価対象外となっております。その中でご意見やご質問がありましたら、お願いします。
委員	73 ページの施設整備なのですが、医療機器等の整備更新で 12,623 千円の内、コロナ関連の整備費はいくらか分かりますか。
医療センター	資料の 136 ページにですね、固定資産の取得関係があるのですけれども、そちらの方に、機械備品関係で 11,475,700 円と書かせていただいています。この中で、欄外下の方にですね、どういったものを買ったかということで、全自動血液凝固測定装置が 2,700,000 円、オゾン関係が 2,500,000 円、コロナの陰圧室が 2,000,000 円、あとオンライン資格認証システムが 1,808,000 円となっております。一番上の全自動血液以外につきましては、全部補助金によって購入しております。
委員	資格認定システムもコロナ関連なのですか。
医療センター	マイナンバーカードが保険証になるというものです。これにつきましても、厚生労働省の補助金で購入しております。
委員長	それでは次に 74 ページ第 11 その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき事項について、説明をお願いします。
医療センター	資料 6 74 ページ
委員長	はい、ありがとうございます。それでは、只今法人の自己評価が 2 でございますが、ご意見がありましたらお願いします。 ご意見ないようですから、委員会としても評価 2 ということで決定をさせていただきます。
委員長	以上で、本日予定しました令和 3 事業年度における業務実績に関する評価についての審議を終了いたします。事務局の方で取りまとめをお願いいたします。

(3) 第 2 期中期目標期間における業務実績に関する評価について

発言者	発言内容
委員長	続きまして、第 2 期中期目標期間の業務実績に関する評価についてを議題といたします。まず、医療センターより自己評価と、その評価に至った理由の説明をお願いします。資料 8 「業務実績報告書」の 82 ページから 86 ページ、「第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために執るべき措置」の、「1 医療サービス」の (1) から (5) についての説明を、簡潔にお願いします。
医療センター	資料 8 82～86 ページ

委員長	それでは項目別にいきたいと思います。まず、1 医療サービスのうち（1）緊急性の高い脳疾患や地域に不足している内科疾患における二次救急医療の提供、自己評価は2でございますが、違うご意見の方ありますか。
委員	昨年も私はここに関しては、照らし合わせた時に1ですということをおっしゃっていただいておりますので、同様に1です。
委員長	1という意見が出ました。他にございますか。なければ決をとりたいと思います。自己評価は2であります。2でいいという方の挙手を求めます。挙手少数です。委員会としての評価は1といたします。
委員長	次に（2）初期救急医療体制の維持及び充実、自己評価は2ですがご意見ありますか。 ないようですので、自己評価と同じく委員会として評価2で決定させていただきます。
委員長	次に（3）地域医療連携の推進、自己評価が2でございます。ご意見があればお願いします。 ご意見がないようですので、委員会として評価2と決定をさせていただきます。
委員長	次に（4）在宅医療の充実に向けた支援、自己評価が3でございます。ご意見があればお願いします。
委員	1つ確認させてください。先程のご説明で指標は下回っておりますけれども評価は3にされたというご説明だったのですが、3にされた最大の根拠を教えてくださいませんか。
医療センター	昨年度の件数よりも、大分指標の方が増加しておりますので3とさせていただきます。
委員	わかりました。
委員長	違う評価の方はいらっしゃらないですか。なければ自己評価と同じく委員会としても3に決定させていただきます。
委員長	次に（5）地域災害拠点病院としての役割、自己評価は4でございますが、ご意見があればお願いします。 ないようですので、委員会としても評価を4と決定をさせていただきます。
委員長	次に、87 ページから 94 ページ、「2 医療の質の向上」の（1）から（5）について説明をお願いします。
医療センター	資料8 87～94 ページ
委員長	それでは項目別に審議をお願いします。まず、（1）医療スタッフの確保、自己評価は3ですが、ご意見があればお願いします。

	ご意見がないようですから委員会として3で決定させていただきます。
委員長	次に(2)医療安全対策の徹底、自己評価は3ですが、ご意見があればお願いします。 なければ委員会としても3と決定させていただきます。
委員長	次に(3)クリティカルパス導入の推進、自己評価は3ですが、ご意見をお願いします。 ないようですので、委員会としても3で決定させていただきます。
委員長	次に(4)高度医療機器等の計画的な更新・整備、自己評価は3ですが、ご意見があればお願いします。ないようですので、委員会として3で決定させていただきます。
委員長	次に(5)研修制度の確立、自己評価は3ですが、ご意見があればお願いします。 ないようですので、委員会として3で決定をさせていただきます。
委員長	次に、95ページ、「3 患者サービスの向上」から100ページ、「5 法令遵守」まで説明をお願いします。
医療センター	資料8 95~100ページ
委員長	それでは項目別にいきたいと思います。まず、(1)患者中心の医療の提供、自己評価が3ですが、ご意見があればお願いします。 ないようですので、委員会としても評価を3で決定させていただきます。
委員長	次に(2)快適性の向上、自己評価は3ですが、ご意見があればお願いします。 ご意見ないようですので、委員会としても3で決定をさせていただきます。
委員長	次に(3)情報発信の推進、自己評価は3ですが、ご意見があればお伺いします。 ないようですので、自己評価と同じく3と決定させていただきます。
委員長	次に(4)職員の接遇向上、自己評価は5ですが、ご意見があればお願いいたします。
委員	先程令和3年度も含めて4ということで意思表示をしていますので、ここを4で、意見です。
委員長	今、4というご意見がありました。他のご意見はございませんか。なければ決をとりたいと思います。自己評価の5でよいという方の挙手を求めます。 挙手はゼロです。それでは4ということでよろしゅうございますね。

	では、そのように決定させていただきます。
委員長	次に大きな4番 公的医療機関としての役割、自己評価は4であります。ご意見があればお伺いいたします。 ないようですので、委員会としても4に決定させていただきます。
委員長	次に5番 法令遵守、自己評価は3であります。ご意見があればお願いいたします。 ないようですので、委員会としても評価を3に決定させていただきます。
委員長	次に101ページ、「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」から108ページ、「第3 財政内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」まで説明をお願いします。
医療センター	資料8 101～108ページ
委員長	それでは項目別にいきたいと思います。まず、大きな1 法人運営管理体制の確立、自己評価は3でございますが、ご意見があればお願いいたします。 ご意見がないようですので、委員会としても3で決定させていただきます。
委員長	次に2 業務運営の改善と効率化のうち(1) 効率的な予算の執行、自己評価は3でございますが、ご意見があればお願いします。 ご意見ないようですから委員会としても3に決定させていただきます。
委員長	次に(2) 適切な人員配置、自己評価は3でありますが、ご意見があればお願いいたします。 ないようですので、委員会としても3と決定させていただきます。
委員長	次に(3) 人事評価制度の運用、自己評価は2でございますが、ご意見があればお願いいたします。
委員	人事評価は、あまり厳しくすれば密告制度になるからですね。あまり評価はしないほうが良いと思う。この前もこれは2になりました。あまりいきすぎるといけない。だから、私は3でも良いと思うのですがね。人の評価って難しいですよ。へたすれば密告制度になって、告げ口みたいになって、これを評価するのは難しいと思います。自己評価はなぜ2になっているのですかね。
医療センター	前回も申し上げたのですが、人事評価制度というものを私よりも前の段階、令和元年度あたりまででシステムを整備されてきて、運用まではいかないのですが、テスト運用というところまではや

	<p>っていただきました。それを主な役割を努めていた市からの派遣の職員の方が引き上げとなったので、私どもは新しい体制になってわかりませんので、なかなか運用ができませんでした。それともう1つは、今も年間でコストがかかっておりましたので、経費節減のためにも一旦休止をさせていただきました。昨年度は何をしたかと申しますと、この人事評価制度をやはり運用を目指そうということで、1つは人事評価制度というよりも目標管理制度、これをもって人事評価につなげようと、一人一人が目標をもってやるということですが、それが病院機能評価にもつながりますので、それが出来ないかなという事を専門家を交えて協議をしましてまいりました。できましたら今年度その足がかりを作って、上手くいけば運用までもっていけるように頑張ろうと思っております。ただ、昨年度までは、人事評価制度自体を私どももいろいろ研究はしましたけれども結果的に運用はできておりませんので、2という評価を付けさせていただいたところであります。ご意見は本当に貴重なご意見として承ります。</p>
委員長	<p>それでは自己評価と同じく2ということによろしゅうございますか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>それではそのように決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に(4)病院機能評価の活用、自己評価は2であります。ご意見があればお願いいたします。</p> <p>ないようですので、委員会としても評価2で決定させていただきます。</p>
委員長	<p>次に 第3 財政内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置、1 持続可能な経営基盤の確立のうち(1)収入の確保、自己評価は2であります。これについてご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>先程(令和3事業年度の評価)も1で評価させていただきました。同じく1で意見を言わせていただきます。</p>
委員長	<p>他ございませんか。</p>
医療センター	<p>今、審議をいただいているのは中期目標期間、つまり3年度に渡ってのトータル評価だというふうに認識しております。確かに昨年度は1というご意見で残念なのですけれども、ここには右上に見てご覧になったように令和元年度に4という評価をいただいております。本当に前の方々に頑張っていたら4といういい評価をいただいているので、それから後2となったので、私どもとしては2という評価を付けさせていただいて、3という声もあったのですけれども、現状考えると2だろうと、ただし3年間のトータルでという評価ですので、そ</p>

	こをご理解いただければというふうに思います。
委員長	<p>他ございませんか。3事業年度については1というふうに先程決定をいたしました。中期目標ですから3年間の目標ということになります。</p> <p>それでは、自己評価2とそれから1で決をとらせていただきます。自己評価のとおり2でいいという方の挙手を求めます。挙手は少数で否決されました。委員会としては1に決定をさせていただきます。</p>
委員長	次に(2)支出の節減、自己評価は5であります。ご意見をお願いいたします。
委員	評価はいいと思います。ジェネリック医薬品の採用率については多分、以前の体制ではこのようにならないと思います。やはり今の先生方が病院に対して協力されているのだらうと思いますので、5でいいと思います。
委員長	今、5でいいというご意見がありました。他にございませんか。なければ自己評価のとおり委員会としても5とさせていただきます。
委員長	次に(3)役割と負担の明確化、自己評価は2となっておりますが、ご意見をお願いいたします。
委員	先程(令和3事業年度の評価)1で意見を言わせていただきました。同様に1で言わせていただきます。
委員長	<p>他のご意見はありませんか。なければ自己評価の2と今の1で決をとりたいと思います。</p> <p>自己評価のとおり2でいいという方の挙手を求めます。少数であります。よってこれは委員会として1に決定をさせていただきます。</p>
委員	私は1でいいとは思いますが、先程もお話がありましたように、かなり努力されていらっしゃると思いますので、評価にコメントを付けるというのはいかがなものでしょうか。
委員	それは全然いいと思います。
委員長	今、ご提案がありましたけども、努力をしているということ踏まえたコメントを付けるということでよろしゅうございますか。
委員	はい。
委員長	ではそのように決定させていただきます。
委員長	次に109ページの「第4」から、111ページの「第10」までは評価対象外となっております。ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。
委員長	なければ次に、112ページ、「第11 その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき事項」について説明をお願いいたします。

医療センター	資料8 112 ページ
委員長	自己評価は2ですが、ご意見があればお願いいたします。 ご意見がないようですから、委員会としても評価2で決定をさせていただきます。
委員長	以上で、本日予定しておりました審議を終了となりますけれども、先程出ておりました評価基準の件がございました。このことを追加して審議することよろしいでしょうか。
委員	はい。
委員長	ではそのようにさせていただきます。 それでは、西都児湯医療センターの皆様にはご退席をいただきたいと思います。どうもお疲れ様でした。
医療センター	どうもありがとうございました。(退席)

(4) 地方独立行政法人西都児湯医療センターの
業務実績に関する評価実施要領の改正について

発言者	発言内容
委員長	それでは会議を再開したいと思います。先程でました評価基準の件ですが、小項目だけの評価でいいのではないかと、大項目については省略したらどうかというご意見だったと思いますが、このことについて委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。
委員	評価基準を見直してくださいと去年お願いした立場ですので、考えを言わせていただこうと思います。評価委員会が設立された当初は評価委員会の意見が非常に重要でした。法改正によって今は評価委員会の意見というのは答申する、市長に対して意見を述べるという形になっています。それで、最終的な評価は市長がするというふうに法律が改正されています。そのような中で、私たちが小項目を評価して、その後市が設定した大項目の平均値をとって評価として出しています。結果的に、評価委員会が概ね順調と評価しておりますということで、市民の方達からも結構な意見を、私は西都に住んでおりますので一杯意見をいただきました。それで、最終的に市長が評価するというふうに法改正されているのであれば、小項目を私たちが評価して、その後の総合的な評価は市長が意見を述べればよいのではないかなど。そうすることで、責任逃れするつもりはございませんが、納得できない大項目評価を出すくらいであれば、何も問題ないのではないかなど。評価委員会としては小項目で項目毎に設定されたものを評価しているというところまでで、いかがでしょうか。私は傾斜配分もするのかなど

	<p>思っておりましたけど、考えようによっては確かに不公平な部分もあるかもしれないので、小項目だけの評価ということでも多少はですね、項目毎に意見が出せるのでいいのかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>法がそういうふうになっているから私もいいと思います。ただ、やはり新型コロナに関してですね、非常に取り巻く環境というのは大きく違うので、そこを鑑みてちゃんと市長は評価していただければと一応提言させていただきます。</p>
委員	<p>私は全然政治とかわからないですけども、やはり我々が大項目のS、A、B、C、Dまで決める必要はないのではないかなと思います。各小項目を評価して、最終的な大項目の評価は市に委ねる代わりに、大項目毎にコメントを付けて出すと、そういった形がいいのかなと思います。無理に大項目の評価基準を達成したとかそういったものに当てはめるから、ちょっと問題が出てくるのかなというふうに思います。</p>
委員長	<p>評価委員会が評価をするのではなくて、このように評価をしたらどうですかというふうに市長に答申をするわけです。もちろん、その事前に長時間かけて審議していただくわけですから、やはりそのことを市長は尊重してもらわなければいけない。委員がおっしゃったようにコメントとして、付け加えるものはやはり付け加えていただくと。委員もおっしゃいましたけども、そういうふうに私も思っております。なにもかも評価委員会がすべてを決めつけて、こうだと言うことはどうなのかという気もするしですね。</p>
委員長	<p>それでは、この要領の改正をですね、事務局の方に今のご意見を参考にして作っていただいて、次回にお示しをしたいというふうに思いますが、そういうことでよろしいですね。</p>
委員	<p>はい。</p>
事務局	<p>1つよろしいでしょうか。今、要領の方の改正を行ってよろしいというご意見いただきましたので、早速改正に向けての決裁をとりまして改正の方を行っていきたいと思うのですが、冒頭にスケジュールを職員が伺ったと思います。次回の委員会についてです。それについて、実際、本日、小項目の評価はもう決定をしていただいておりますので、次回集まるのかどうかというところまで後ほど話をいただければよろしいかなと。というのが、今回、小項目の評価が出ましたので、そこを踏まえうえで委員の皆様方に後ほど配付をさせていただくことになると思うのですが、その前にですね、先程委員からご意見ございましたが、大項目毎に意見を付すのか、小項目毎に意見を付すのかに</p>

	よって、そちらを頂ければ先に、それを記載した上でお配り出来るかなと思います。それがあれば、第3回を開く必要がなくなる可能性はあるというふうに考えますので、そのあたりまで話をさせていただくと非常にありがたいと考えます。以上です。
委員長	今、事務局の方からありましたけどもいかがでしょうか。
委員	大項目は市長に任せるって・・・
委員	必要なのは意見です。
事務局	今、委員もおっしゃったように、意見がある方はその小項目毎でも大項目でもよろしいですので頂ければ、それが揃い次第、記入してお配り出来るのですが、実際はいつまでという期日があった方がいいですよ。
委員	あったほうがいい。
事務局	それでは、去年と同じように書面でご意見を集めさせていただくという事でよろしいでしょうか。
委員	それで、それをまとめてもう一度確認するのか。
事務局	はい。とりまとめて記載したものを送らせていただいて、書面決議という形でよろしいですというのをいただければ、医療センターの方に評価(案)を作りまして、こういうふうになりましたというのを病院に示して、それで何もなければそのまま決定としてお出しするという形になるかなと思います。
委員長	よろしいですか。
委員	はい。
委員長	それでは、そのようにさせていただきます。長時間に渡りましてありがとうございました。以上で解散させていただきます。
事務局	以上で、令和4年度第2回西都児湯医療センター評価委員会を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。

4 その他 特になし

5 閉会